

STUDENT INTERVIEW

山口 華奈 (2011年01月入学)

パートナーと世界を回りながら

日本語教師がしたい



JALC を選んだ理由

JALCで「教壇力」と「直接法での指導法」を身に付けたからです。日本語の教授法には直接法と間接法があることを知った時、どちらが将来的に就職の際に有利なのかを調べました。その結果、採用条件として「直接法で教えられる人」を提示している採用情報が多いということを見出しました。そしてなにより、実際の現場で必要とされているのは教師としての力、つまり教壇力ということが分かりました。JALCはその両方が身に付けられる学校であり、特に卒業してからすぐに日本語教育の第一線で活躍できるような教壇力を身に付けられると知ったのでJALCを選びました。

卒業後の展望について

JALCに入学した時は日本に帰って教えることを考えていたのですが、オーストラリアで知り合ったパートナーがオランダ出身で、尚且つ彼の仕事の関係上いろいろな国に行く機会があるので、思わぬ出会いで日本語教師として活躍できる舞台が世界に変わりました。今はパートナーと世界を回りながら、日本語教師がしたいと思っています。

授業内容について

授業はクラスメイトを学習者役にした模擬授業とそれに対するフィードバックを中心に行われています。このフィードバックがとても濃い時間となっており、教壇力はここで培われます。また、フィードバック中に日本語と日本語教育に伴う理論も一緒に勉強できるといった感じです。先生が一方的に授業をしてそれを単に聞いている教師主導型の授業は少なく、必ず受講生も交えて意見の交換や議論をする生徒参加型の授業なので飽きることがありません。

皆様へメッセージ

養成講座では学ぶことが沢山あったり、課題もうまくできなかったり、睡眠不足になったり大変なことはもちろん多々あると思います。しかし、教える現場に実際に出るようになったとき、養成講座での苦労は教師としての自信に変わると思います。養成講座で勉強すること全てが実際の現場に出たときに自分が教師として困らないようにするための訓練（修行）だと感じています。先生方は日本語教師のプロ中のプロばかりで、いつも私たち受講生をプロ目線で見てくださっています。本気で日本語教師を目指したいと考えている方は、必ず満足できます。

JALC 生に一問一答 !!

■入学前編■

- Q. いつ頃から留学準備を始めましたか？
A. 入学する1年前。学校を決めたのもこのくらい前です。

- Q. 日本語教育に携わったことはありますか？
A. 全くありません。

■衣食住編■

- Q. 現在はどこに住んでいますか？
A. シティ中心の高層マンションの33階に住んでいます。
- Q. そこはJALCから歩いて/バスで/電車で何分ですか？
A. 徒歩3分です。
- Q. 家賃はいくらですか？
A. 週\$160でインターネット、電気代全て込みです。
- Q. 自炊派ですか？外食派ですか？
A. 当番制で4人のフラットメイトと自炊しています。毎日多国籍な食事です。

■JALC生活編■

- Q. JALCの立地についてどう思いますか？
A. 何もかもが近くにあり、とても便利です。
- Q. 先生方は厳しいですか？
A. はい。でも、愛も感じます。お互いに真剣なので厳しくてもなんてことないです。
- Q. 日本語教授法以外にJALCで身につけることができた、もしくは身につけたいことは何ですか？
A. 聞き手に自分の意見を分かりやすく話せるようになったことです。一見誰もができそうな簡単なことのように聞こえますが、模擬授業後のフィードバックのように様々な意見が飛び交っている白熱した議論の場面で端的に分かりやすく説明するのはとても難しかったです。また、フィードバックなど意見を交わす場面や議論の場面でもっと建設的に話せるようになることと、事前に物事を調査しその後に自分なりに分析ができるようになることが、JALC生活を通して得た新たな目標です。